

私と災害

錦町立西小学校 5年 税所 暖

2020年7月4日。朝起きてニュースを見ると、いつもとはちがう人吉の様子が映っていました。それはなんと、家の1階がどろ水につかっている映像でした。

そして、自分の家の外が気になり庭を見てみると、足首くらいの深さの水が来ていました。そこで、一しゅん「うちは大丈夫だ、よかった人吉で」と思ってしまいました。

ところが、しばらくしてお母さんに電話が来ました。お母さんがかんとで、「すぐに病院に来てください。」という電話でした。「せっかくの休みなのに、急に仕事が入っていっしょに過ごせないなんて…」と思い、私は悲しくなりました。

その後、ずっとニュースを見て過ごしました。水が引いたころ、今度はちがうしょうげきを受けました。最初は水の量におどろくだけでしたが、だんだん多くの人の悲しむ声が聞こえたり、たくさんの人がなくなったり行方不明になったりしている様子を見て、さらにびっくりしてむねが苦しくなりました。そして、朝、心の中で言った自分の言葉を思い出しました。他人事として考えていた自分がいやになりました。

数日経って、自分の目で人吉の様子を見に行きました。すると、災害にあった人以外にもボランティアの人たちがやって来て、被災した家や店のかたづけを手伝っていました。私は助かったけれど苦しんでいる人がいることを自分の目で見て知って、自分には何ができるかを考えるようになりました。

そこで、うちの家族の知り合いの方で、カヌークラブをされている方といっしょに募金活動をすることにしました。私自身も自分で募金をしました。カヌークラブの方たちは水害でボートが流されたり、川がよごれて練習ができなかったりする大変な状況でしたが、募金をして困っている人たちを助けていました。私もいっしょに活動に参加して、だんだんうれしい気持ちになって達成感もわいてきました。

この体験を通して、私には新たな目標ができました。それは、困っている人を助けられる人になることです。見ないふりや「自分には関係ない」と思う気持ちをやめることです。たとえ私に直接関わってなくても、「人のつながりは必ずある」と募金を通して感じました。そして、この目標は、いじめや差別をなくすことにもつながる気がします。いじめや差別のない西小にするため、まずは困っている人に気づける力をつけて、無視したり知らないふりをしたりすることをやめ、行動に変えていきたいです。そして、西小のサブリーダーとして、すてきな6年生に近づきたいです。